

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

区名	事業名称	実施主体					
南区	南区地域安全対策事業	南区役所自治推進課					
事業目的	事業内容	活動指標	成果				
			R2	R3	R4		
南区役所、南堺警察署及び自治会が協力し、地域安全対策事業として防犯活動を推進し、犯罪件数の減少をめざす。	①南区役所と南堺警察が協力し、移動式防犯カメラの設置、パトロール活動等、及び南区内の自主防犯団体への支援を実施する。 ②南区の特色の一つである緑豊かな公園緑道について、一部の箇所では照明灯が少なく夜明け前や夜間は非常に暗いことから、公園緑道を安全に利用していただくために照明灯を設置する。	防犯カメラ出庫台数	40	40	40		
		街頭犯罪発生件数【全刑法】	699	630	717		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	多発する街頭犯罪に対して行政、警察、市民等が協働で取り組むことで、街頭犯罪多発地域に対し、重点をおいた対応ができ、防犯及び検挙率アップにつながるため当該事業の実施は妥当である。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・警察による犯罪発生エリアの分析・パトロール ・行政による防犯カメラ等の資器材の維持管理 ・設置地域の住民に対して、設置への理解及び防犯意識の向上 ・地域住民による青パトを用いた自主防犯パトロール 	○	防犯カメラの設置箇所に標示幕を設置することで、犯罪の防止につながる。 また、設置するカメラは移動式であるため、設置箇所を随時変更し、犯罪発生地域の変化にも即座に対応できる。 あわせて、地域住民による自主防犯パトロールは、行政の取り組みにあわせて、地域の特色にあつたきめ細やかな活動となっている。	○	犯罪発生状況の分析による設置箇所の選定は警察が担い、資器材の維持管理については、行政が担うといった役割分担をして協働することで、効率的な運営がなされていると言える。
⑤自立発展性		総合評価					
△	本事業は、区と警察の協働を中心に、地域とも連携して実施していくものであり、今後についても、現状の体制で実施することが望ましい。	○	設置された40台の防犯カメラは、街頭犯罪の多発する地域に設置されており、今後も犯罪者の検挙や、犯罪の抑止につながると考えられる。また、公園緑道の照明灯は夜間は非常に暗かった一部箇所に戦略的に設置し、夜間の安全性向上に寄与した。さらに、当該照明灯はソーラーパネルで、災害時には電源供給用としても機能し、広域避難所となっている公園の災害時の安全性にも寄与するものと考えられる。 なお、街頭犯罪発生件数は前年度から増加しているが、コロナ禍による活動自粛からの反動も含まれるものと考えられる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	継続的な行政による移動式防犯カメラ等の資器材の維持管理、警察による犯罪エリアの更なる分析、地域住民への啓発の強化を行う必要がある。						